自由同和 大阪版

運動スローガン
1. 自由な論議の場を！
2. 行政の主体性の確立
3. エセ同和行為の排除

No.449
2024年(令和6年) 7月25日発行
■発行所　自由同和会大阪府本部事務局
堺市堺区大町東3丁2-28 永木ビル4F 北号室
電話(072)224-1111
■発行人　畑中幸司
定価一部500円 年間6000円 (送料込み)
ホームページ▶https://jiyudowa-osaka.org

自由同和会大阪府本部 第39回大会開催される

自由民主党　参議院議員　太田房江　秘書　川端威臣(代読)

自由民主党　衆議院議員　柳本　顕

大阪府本部会長　畑中　幸司

自由民主党　大阪府議会議員　須田　旭

自由同和会　中央本部会長　川上高幸

自由同和会　近畿ブロック会長　上田藤兵衛

令和6年7月7日（日）午後1時より、シティプラザ大阪に於いて「自由同和会大阪府本部第39回大会」を開催しました。

中村昭彦副会長の開会の挨拶で始まり、主催者を代表して畑中幸司会長の挨拶で始まり、【「人権問題の解決は、個別法によるきめ細やかな人権救済の推進で」という自由民主党の方針から「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ規制法」「部落差別解消法」「アイヌ民族支援法」が成立しましたが、部落解放同盟はこれらの法律で解決するのは不十分として、これらの団体や関係する個人と連携しながら「包括的な差別禁止法」の制定に取り組むとしております。

行政による啓発及び様々な人権施策、また我々の積極的な運動の成果により、あらゆる差別が解消され、人権が尊重される社会が構築されつつあります。しかし、同和対策事業の再行など、法の間違った解釈による条例の制定等は断固として阻止していくべきと考えております。

よって、人権救済を行う国家行政組織法の第3条委員会である「人権委員会」の設置を中心とする新たな「人権擁護法案」の成立を求め、大阪府本部として、運動に邁進してまいります。】と宣言しました。

来賓挨拶では、自由民主党柳本顕衆議院・自由民主党須田旭大阪府議会議員・自由民主党太田房江参議院議員（秘書代読）続きまして、吉村洋文大阪府知事（川村哲也府民文化部人権局人権擁護課長代読）・横山英幸大阪市長（忍康彦市民局ダイバーシティ推進室長代読）・永藤英機堺市長（濱伸子市民人権局ダイバーシティ推進部長代読）続きまして、自由同和会中央本部を代表して川上高幸全国会長・自由同和会近畿ブロック会長京都府本部上田藤兵衛会長、ご来賓の方々よりご祝辞を頂戴しました。

続いて、記念講演として大阪企業人権協会人権啓発サポートセンター古野哲司講師より「人権の動向、同和問題、差別について考える」と題して講演していただきました。

その後、議事に移りすべての議案が承認され、重博文筆頭副会長の閉会の挨拶で自由同和会大阪府本部第39回大会を終了しました。

来賓出席者

自由民主党
衆議院議員　柳本　顕
参議院議員　太田　房江(秘書)
大阪府議会議員　須田　旭

自由同和会
中央本部　会長　川上高幸
中央本部　事務局長　平川秀樹
中央本部　副会長　上田藤兵衛
近畿ブロック会長
京都府本部　会長
福岡県本部　会長　上田　信輝
千葉県本部　会長　木村　仁
長崎県本部　会長　栗原　英明
兵庫県本部　会長　山口　晃弘
岡山県本部　会長　幡司　貴光
佐賀県本部　副会長　山本　健勝
奈良県本部　事務局次長　畑野　真男
大分県本部　女性部長　江藤由美子
(順不同・敬称略)

祝電

自由民主党
(国会関係)
大阪府支部連合会会長　谷川とむ
衆議院議員　柳本顕
衆議院議員　太田房江
参議院議員　松川るい
元大阪府知事
参議院議員
(大阪府議会)
大阪府議会議員団幹事長　しかた松男
(大阪市議会)
市民クラブ大阪市会議員団
(堺市議会)
市民クラブ一同
(自由同和会)
中央本部副会長
近畿ブロック会長　上田藤兵衛
京都府本部会長
福岡県本部会長　上田信輝
埼玉県本部会長　本原克巳
愛知県本部会長　堺　一
和歌山県本部会長　榎本淳広
新潟県本部会長　佐藤貴子
(順不同・敬称略)

〔お詫び〕

本機関紙6月号掲載の自由同和会第39回全国大会祝電リストに
太子町長　田中祐二様の掲載漏れがありました事をお詫び申し上げます。

祝辞

大阪府知事　吉村洋文

自由同和会大阪府本部第39回大会のご盛会を、心からお喜び申し上げます。

自由同和会大阪府本部の皆様方におかれましては、日頃から大阪府政の推進にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、貴本部におかれましては、同和問題はもとより、様々な人権課題の解決に向け、積極的な取組みを展開されていることに対し、深く敬意を表します。

さて、２０２５年大阪・関西万博の開幕まで３００日を切りました。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとするこの万博は、１５０を超える国々の人々をここ大阪にお迎えし、「いのち」に関する今日的課題の解決に向けて世界中の叡智を集結するものです。

まさに「いのち輝き」「誰ひとり取り残さない」社会の実現を目指す万博ですが、そのためには何よりもまず、人権が尊重される社会の実現に向けた取り組みが必要です。

こうした中、大阪府では、新たな課題として対応が急がれるインターネット上の人権侵害について、昨年十月に「大阪府インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例」を改正いたしました。併せて、十一月にはインターネット上のトラブルに関する相談を幅広く受け付ける相談窓口「ネットハ モニー」を開設し、被害者にも寄り添った支援を行っているところです。

この四月からは、条例改正を踏まえ、インターネット上の不当な差別的言動に係るプロバイダ業者への削除要請の拡充や発信者への説示、助言を開始しております。

今後とも、インターネット上の人権侵害の防止に向け、より実効性のある施策を総合的に推進するなど、同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決に向け積極的に取り組んでまいりますので、皆様には、引き続きお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、自由同和会大阪府本部の更なるご発展と、本日お集まりの皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、挨拶といたします。

大阪市長　横山英幸

自由同和会大阪府本部第39回大会が盛大に開催されましたことを、心からお祝い申しあげます。

自由同和会大阪府本部の皆様方には、平素から大阪市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申 あげます。

現在、インターネット上での誹謗中傷や部落差別を助長、誘発するような情報の発信、女性や高齢者、外国につながる人々、ＬＧＢＴなどの性的少数者に関する偏見など、多様で複雑な人権課題への対応が引き続き求められおり、人権が尊重される社会の実現に向けた取組みが、ますます重要となっております。

こうした中、皆様方が、あらゆる差別を解消するため、多年にわたり人権課題に取り組んでおられますことに、深く敬意を表する次第です。

さて、本年3月に、大阪市職員による差別発言事象が発生していたことを市として公表いたしました。

言うまでもなく他者を傷つけ、人権を踏みにじる差別発言は断じて許されず、また、事象発生から認知までに相当な時間を要したことも看過できるものではなく、このような事態が起こったことは誠に遺憾であり、深くお詫び申しあげます。

これをふまえ、大阪市では、大阪市人権行政推進本部を開催し、各所属に対し、改めて職員一人ひとりの行為が本市の人権行政、ひいては市政全体に大きな影響を及ぼすこと、率先して人権行政を推進すべき責任を負っていることを全職員に自覚させ、断固たる姿勢で差別の根絶に取り組んでいくこと、人権侵害を決して許さないという視点で、二度とこのような事案を発生させないとの決意のもと、組織ガバナンスの一層の強化を徹底するよう指示したところです。

今後とも、「大阪市人権行政推進計画」に基づき、人権が尊重される社会の実現に向け、国や大阪府と連携を図り、市民の皆様からのお力添えのもと、あらゆる人権課題に対応してまいります。

いよいよ来年4月には「大阪・関西万博」が始まります。万博が次の時代を切り拓く新たなイノベーションとなって、大阪・関西ひいては、日本全体の成長の起爆剤になっていくよう全力で取り組んでまいります。

結びに、本大会が実り多いものとなりますよう、また自由同和会大阪府本部のますますのご発展、皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申しあげまして、ごあいさつとさせていただきます。

堺市長　永藤英機

自由同和会大阪府本部第39回大会の開催をお慶び申し上げます。

皆様には、平素より堺市の人権施策をはじめ、市政の各般にわたりご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、同和問題をはじめとする差別の撤廃と人権意識の確立に向け、長年にわたり様々な取組を展開されていることに敬意を表します。

世界では、各地で続く紛争等により多くの尊い命が失われ、人々の尊厳や基本的人権が損なわれる出来事が相次いでいます。また、国内では、匿名性を悪用したインターネット上での誹謗中傷や差別をはじめ、複雑化した人権侵害が社会問題化するなど、人権が尊重される社会の実現に向けた施策推進の重要性が増しています。

本市では、「人権擁護都市宣言」や「平和と人権を尊重するまちづくり条例」に基づき様々な差別の解消に向けた人権施策を行っています。市政運営の大方針である「堺市基本計画２０２５」においては基本姿勢に「多様性～Ｄｉｖｅｒｓｉｔｙ～」を掲げ、「平和と人権の尊重」「ジェンダー」「多文化共生」の視点を持ってすべての事業を進めています。

今年度、平成27年4月のリニューアルオープンから10周年を迎える人権ふれあいセンターの愛称を「あいてらす堺」と決定しました。私という個人の人権を守り、人と人とのふれあいを促進し、愛にあふれた社会の形成に役立つ、多くの人が集う明るいテラスのような、堺市の人権啓発の拠点をめざす意味が込められています。身近で親しみやすい施設として「あいてらす堺」を活用し、人権教育や人権啓発、また市民交流の更なる推進を図ります。

今後も多様化する人権課題に対して積極的に取組を進め、市民の皆様がこれからも堺で安心して暮らし続けることができ、将来にも夢と希望が持てる都市であるように取り組みますので、皆様には本市人権行政により一層のご支援をいただけますと幸いです。

結びにあたり、自由同和会大阪府本部の益々のご発展、皆様のご健勝とご活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

祝電

（大阪府関係）

大阪府知事　吉村洋文

（市町村関係）

大阪市長　横山英幸
堺市長　永藤英機
豊中市長　長内繁樹
泉大津市長　南出賢一
枚方市長　伏見隆
高石市長　畑中政昭
阪南市長　水野謙二
羽曳野市長　山入端創
大阪狭山市長　古川照人
岸和田市長　永野耕平
摂津市長　森山一正
河内長野市長　島田智明
貝塚市長　酒井了
四条畷市長　東修平
大東市長　逢坂伸子
門真市長　宮本一孝
寝屋川市長　広瀬慶輔
守口市長　瀬野憲一
箕面市長　上島一彦
八尾市長　大松桂右
柏原市長　冨宅正浩
東大阪市長　野田義和
藤井寺市長　岡田一樹
交野市長　山本景
田尻町長　栗山美政
岬町長　田代堯
能勢町長　上森一成
豊能町長　上浦登
太子町長　田中祐二
島本町長　山田紘平
熊取町長　藤原敏司
河南町長　森田昌吾
千早赤阪村長　南本斎

（順不同・敬称略）

――自由同和会大阪府本部第39回大会行政出席者――

大阪府
府民文化部人権局人権擁護課 課長　川村哲也
府民文化部人権局人権擁護課 課長補佐　柿木田勉
大阪市
市民局ダイバーシティ推進室 室長　忍康彦
市民局ダイバーシティ推進室 共生社会づくり支援担当課長　寺見隆彦
市民人権局ダイバーシティ推進部長　濱伸子
市民人権局ダイバーシティ企画課 参事　坂本誉子
市民人権局ダイバーシティ企画課 参事　六波羅善一
市民人権局　人権推進課 課長　中村直樹
教育委員会事務局人権教育課 課長　田中豪
市民環境部人権・男女共同参画課　達広志
市民活動部次長兼 人権・文化国際課 課長　樽谷達也
市民部人権政策室 参事　横山尚明
泉大津市
市長公室人権暮らしの相談課 課長　谷内恵介
市民生活部人権政策課 課長　山口ゆかり
市民生活部人権市民相談課　塔本浩史
貝塚市
人権政策課 課長　小篠俊文
茨木市
市民文化部次長兼 人権・男女共生課 課長　松山浩一郎
八尾市
人権ふれあい部人権政策課 課長　宮崎正浩
泉佐野市
市民協働部人権推進課 課長代理　目武
富田林市
市民人権部人権・市民協働課 課長　笹野貴広
寝屋川市
危機管理部次長兼人権・男女共同参画課 課長　大西一弘
河内長野市
総合政策部人権推進課 課長　尾上知代
松原市
市民協働部次長兼 人権推進課 課長　湯川清春
大東市
市民生活部・人権政策監　佐々木由美
和泉市
総務部人権・男女参画室長　小池利昌
柏原市
市民部次長兼 人権推進課 課長　巽真記子
羽曳野市
市民人権部 部長　東伸
門真市
市民文化部人権市民相談課 課長補佐　松村知子
摂津市
人権女性政策課 課長　末永美由紀
高石市
総務部人権・生活相談課 課長　木寺康晴
藤井寺市
市民生活部協働人権課 課長　龍見美行
東大阪市
人権文化部人権室人権同和調整課 課長　本田敬祐
泉南市
行政経営部人権推進課 課長　野中祐加
四條畷市
市民生活部人権・市民相談課 課長　太田由美子
交野市
総務部人権と暮らしの相談課　橋本学
大阪狭山市
広報公聴・人権啓発グループ 課長　田中廣江
豊能町
生活福祉部住民人権課　萩原哲也
忠岡町
産業住民部住民人権課 課長　谷野彰俊
熊取町
総務部人権・女性活躍推進課 課長　片山涼子
田尻町
総務部企画人権課参事兼 人権・男女共生室室長　加藤真紀
岬町
総務部人権推進課 課長　蟻馬幸宏
阪南市
総務部人権推進課 課長　戸崎美津弘
太子町
政策総務部住民人権課　木村厚江
河南町
住民部人権男女共同社会室 室長　北野朋子
千早赤阪村
健康福祉部住民課 課長代理　上田訓士

（順不同・敬称略）